

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	公民科・現代社会		単位数 2	単位	履修学年 3 年
目標	1. 現代社会の諸問題に関して、偏見を排除して客観的な見方を養う。2. 自らを見つめ、自分の課題と将来の展望を探っていく。3. 意見を主張出来る力、他の人と主体的に連帯して社会を変革していく力を身につける。				
使用教材	教科書「現代社会」（実教出版）、演習ノート（実教出版）				
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)	
	現代の社会と人間に関わる事柄についての関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけているか。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて、広い視野に立って多面的に考察するとともに、社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断しているか。	諸資料を収集し、有用な情報を主体的に選択して、活用するとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現しているか。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているか。	
評価方法	・プリント作業項目の完成度・プリントの提出度・定期考査での知識の定着度と記述問題の理解度・学習内容についての質問等から関心度				
学期	学習内容		学習のねらい		
1	1. 青年期とは 2. 青年期と自己形成の課題 3. 職業生活と社会参加 4. 学ぶことの意義 5. 科学と人間 6. 人間の尊厳 7. 正義と自由		・「青年期」について考える。・「おとな」とは何か。その歴史的形成過程、そして、現代社会での在り方について考える。・職業の意義と職業を通じての社会参加を理解する。・学ぶことの意義について考える。・人間の幸福と科学はどのような関連があるかを考える。・カントの「目的の王国」から人間の尊厳について考える。・正義と自由について、哲学者の考え方から理解する。		
2	1. 資本主義経済のしくみ 2. 現代の企業 3. 市場のしくみ 4. 景気変動と政府の役割 5. 金融機関のはたらき 6. 財政の役割と租税 7. こんにちの金融・財政問題 8. 日本経済のあゆみ 9. 消費者問題 10. 労働問題の改善 11. こんにちの労働問題		・経済用語の基本について理解する。・景気変動に政府の役割がどのように関わっているかを考える。・中央銀行と金融政策を中心に理解する。・財政政策や租税について理解する。・金融の自由化と国際化について考える。・日本経済の復興から転機に立つ日本経済まで理解する。・消費者問題と消費者運動について考える。・労働基本権と労働三法を理解する。・具体的な労働問題について、制度や法律と関連づけて考える。		
3	1. 日本国憲法の制定 2. 自由に生きる権利 3. 平等に生きる権利 4. ゆたかに生きる権利 5. 新しい人権 6. 人権のひろがりや公共の福祉 7. 平和主義とわが国の安全 8. こんにちの防衛問題		・日本国憲法の成立について理解する。・精神の自由、身体の自由、経済活動の自由について考える。・社会のさまざまな差別について考える。・生存権はじめ社会権を理解する。・環境権、プライバシーの権利、知る権利について理解する。・公共の福祉による権利の調整について考える。・憲法9条と防衛力の増強について、日米安保体制について理解する。・自衛隊の海外出動などのこんにちの防衛問題について考える。		
学習上の留意点	自分の手で探し、自分の目で見て確認し、自分の頭で吟味し、人の意見をしっかり聞く態度を身につけられる学習内容にするので、学習に際して、意識して積極的に取り組んでください。				